

事項	水稲の本田栽培における市販の有機質肥料の使用法																																		
ねらい	有機栽培や特別栽培などの化学肥料を使用しない栽培法に対応するため、有機質肥料を使用した本田の施肥法について検討した結果、成果が得られたので参考に供する。																																		
指導 参考 内容	<p>1 有機質肥料の施肥方法</p> <p>(1) 施肥体系は、追肥体系（幼穂形成期1回追肥）とする。</p> <p>(2) 幼穂形成期の葉色は、化学肥料並であり、濃い場合は追肥を中止する。</p> <p>(3) 使用肥料及び施肥量の目安は、以下のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="320 669 1337 958"> <thead> <tr> <th>適用(見込み)</th> <th>基肥量(化学肥料対比)</th> <th>追肥量(化学肥料対比)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有機・特別栽培</td> <td>① 有機アグレット666 1.1～1.2倍</td> <td>有機アグレット816 1.0倍</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>② 菜種油かす 1.1～1.2倍</td> <td>有機アグレット816 1.0倍</td> </tr> <tr> <td>特別栽培</td> <td>③ ヘルシー有機特号 1.0倍</td> <td>有機アグレット816 1.0倍</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 施肥量は、窒素保証成分から算出する。</p> <p>2 供試肥料の保証成分(%)</p> <table border="1" data-bbox="320 1160 1075 1449"> <thead> <tr> <th>肥料名</th> <th>全窒素</th> <th>全りん酸</th> <th>全カリ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有機アグレット666</td> <td>6.0</td> <td>6.0</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>菜種油かす</td> <td>5.3</td> <td>2.1</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>有機アグレット816</td> <td>8.0</td> <td>1.0</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>ヘルシー有機特号</td> <td>5.0</td> <td>6.0</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table>			適用(見込み)	基肥量(化学肥料対比)	追肥量(化学肥料対比)	有機・特別栽培	① 有機アグレット666 1.1～1.2倍	有機アグレット816 1.0倍	〃	② 菜種油かす 1.1～1.2倍	有機アグレット816 1.0倍	特別栽培	③ ヘルシー有機特号 1.0倍	有機アグレット816 1.0倍	肥料名	全窒素	全りん酸	全カリ	有機アグレット666	6.0	6.0	6.0	菜種油かす	5.3	2.1	1.0	有機アグレット816	8.0	1.0	6.0	ヘルシー有機特号	5.0	6.0	2.0
適用(見込み)	基肥量(化学肥料対比)	追肥量(化学肥料対比)																																	
有機・特別栽培	① 有機アグレット666 1.1～1.2倍	有機アグレット816 1.0倍																																	
〃	② 菜種油かす 1.1～1.2倍	有機アグレット816 1.0倍																																	
特別栽培	③ ヘルシー有機特号 1.0倍	有機アグレット816 1.0倍																																	
肥料名	全窒素	全りん酸	全カリ																																
有機アグレット666	6.0	6.0	6.0																																
菜種油かす	5.3	2.1	1.0																																
有機アグレット816	8.0	1.0	6.0																																
ヘルシー有機特号	5.0	6.0	2.0																																
期待される効果	水稲の有機栽培や特別栽培を行うための参考となる。																																		
利用上の注意事項	<p>1 JAS法に基づく有機農産物の生産を行う場合は、使用資材を登録認定機関に確認してから使用する。</p> <p>2 有機質肥料は、初期生育が劣るが、稈長が長くなりやすいので、つなぎ肥は実施しない。</p> <p>3 菜種油かすは、飛散しやすいので、強風時を避けて散布する。</p>																																		
担当部署 (担当者名)	青森県農林総合研究センター 環境保全部 (境谷栄二、清藤文仁)	対象地域	県下全域																																
発表文献等	平成16～18年度 青森県農林総合研究センター試験成績概要集																																		

【根拠となった試験結果】

表1 施肥体系と生育・収量

(平成17年 青森農林総研)

施肥体系	肥料名		施肥量 (kg/10a)	6月21日			成熟期			倒伏 (0:無~ 5:甚)	精玄 米重 (kg/a)	同左 指数 (%)	総籾数 (×100 粒/m ²)	千粒 重 (g)	登熟 歩合 (%)	検査 等級	玄米 タンパク (%)
	基肥	追肥		草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)									
追肥	化学	化学	6+2	37.3	247	79.1	17.5	411	0.0	60.9	(100)	313	22.3	92	2中	6.9	
追肥	ヘルシー	ヘルシー	6.3+2.4	35.4	264	82.2	17.8	454	0.4	68.9	113	360	22.4	89	1下	7.2	
	ヘルシー	ヘルシー	7.1+2.4	34.5	241	83.0	17.9	447	0.3	69.5	114	374	22.6	86	2中	7.2	
全量基肥	ヘルシー	—	8.5	36.0	336	86.3	17.0	523	1.2	67.9	111	380	22.2	86	2上	7.5	
	ヘルシー	—	9.4	37.5	304	86.0	17.3	502	1.4	69.5	114	401	22.0	84	1下	7.4	

(注) 品種：つがるロマン

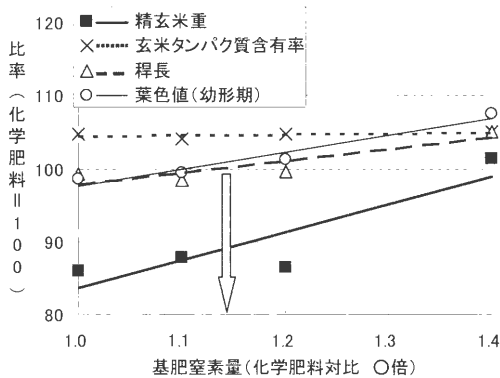


図1 アグレット666の基肥量と生育・収量
(平成18年 青森農林総研)

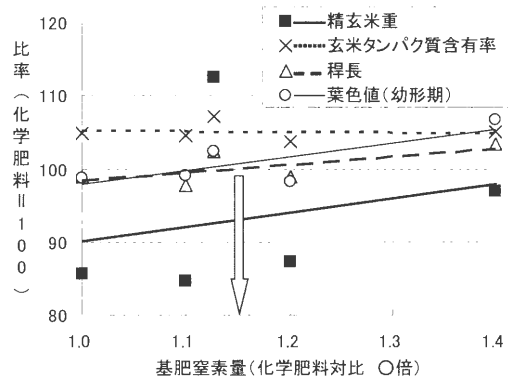


図2 菜種油かすの基肥量と生育・収量
(平成17~18年 青森農林総研)

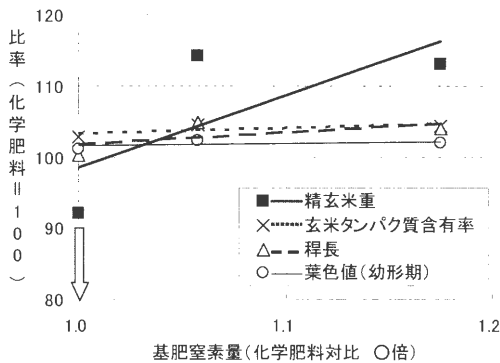


図3 ヘルシー有機の基肥量と生育・収量
(平成17~18年 青森農林総研)

(注) 1 図1~3の追肥は、アグレット816又はヘルシー有機を使用し、2.0~2.4kg/10a実施。
2 図1~3の品種：つがるロマン

表2 有機質肥料に係る費用

(平成18年 青森農林総研)

適用 (見込み)	肥料名		基肥費用 (円/10a)	追肥費用 (円/10a)	合計	
	基肥	追肥			(円/10a)	慣行対比(%)
有機・特別栽培	アグレット666	アグレット816	12,138	2,928	15,066	332
	菜種かす	アグレット816	7,382	2,928	10,310	227
特別栽培	ヘルシー有機	アグレット816	11,532	2,928	14,460	319
慣行栽培	塩加燐安1号	NK2号	3,645	893	4,538	(100)

(注) 1 慣行栽培 (化学肥料) の施肥量は、10a当たり窒素成分で基肥6kg、追肥2kgで算出した。
2 有機質肥料の基肥量は、アグレット666と菜種かすは窒素成分で慣行比1.15倍、ヘルシー有機は1.0倍で算出した。
3 有機質肥料の追肥量は、窒素成分でいずれも慣行と同量とした。
4 肥料価格は、平成18年度納入価格を参考とした。